

トルコギキョウの無加温ハウス7月出荷作型は3月中旬から4月中旬の定植でできる

平坦部におけるトルコギキョウ7月出荷作型の無加温栽培は、「セレブリッチホワイト」(中生)および「海あやか」(中晩生)ともにいずれの苗質でも3月中旬~4月中旬に定植することで切り花長70cm以上かつ花蕾数が確保できる。

農業研究センター農産園芸研究所花き研究室(担当者:日名田祐希)

研究のねらい

平坦部におけるトルコギキョウ7月出荷作型は、簡易ハウスでの無加温栽培により低投資・低コスト生産ができる可能性がある。しかし、本作型における無加温育苗での適切な苗質および定植時期は明らかになっていない。そこで、無加温で7月出荷を目指すうえでの適切な苗質および定植日を明らかにし、栽培体系を確立する。

研究の成果

1. 3月下旬および4月上旬の定植日において、「セレブリッチホワイト」(中生)および「海あやか」(中晩生)ともに、いずれの苗質でも切り花長70cm以上を確保できるが、RTF苗では切り花長が短い傾向にあるとともに育苗に91日~105日を要する(表1、図1)。
2. 3月中旬~4月中旬に育苗日数49日~63日の苗を定植すると、「セレブリッチホワイト」は7月上旬~中旬に、「海あやか」は7月中旬~下旬に収穫でき、両品種で切り花長75cm程度かつ3花2蕾の確保が可能である(表2、図2)。

成果の活用面・留意点

1. トルコギキョウ7月出荷作型の育苗期間および定植日の目安として活用できる。
2. 本成果における育苗は、MKK花用セル培土(南九州化学工業(株))を充填した288穴セルトレーに播種し、農産園芸研究所(合志市栄)の硬質フィルムハウス内で、トンネル被覆下かつ底面給水で行った。温度管理は、ハウス内換気を25℃設定、トンネル内換気を30℃目標で換気を行い、肥培管理は、適宜トミーブラック(N:P:K=10:4:6、(株)片岡コープアグリ)を用いて追肥を行った。なお、転び苗はピンセット等で土中に根を押し込んだ。
3. 「海あやか」(中晩生)は、播種時期が早いと、49日~63日の育苗期間では成苗率低下の可能性があるので留意する。
4. 既存作型に本作型を組み込む場合は、土壌消毒期間が不足しないよう各ハウスの利用計画を十分に検討するなど、土壌病害対策を徹底する。
5. 7月出荷は梅雨時期を経過しての出荷となるため、花シミ、プラスチング(花蕾の発育停止)の発生および日持ち性低下などの品質面に留意する。

【具体的データ】 No. 1140 (令和8年(2026年)5月)分類コード 02-05 熊本県農林水産部

表1 定植日と苗質が収穫日および切り花品質に及ぼす影響(試験1)

定植日 (月/日)	苗質	本葉展開 対数	セレブリッチホワイト(中生)					海あやか(中晩生)				
			育苗日数	収穫日 (月/日)	切り花長 (cm)	開花 輪数 (輪)	有効 蕾数 ² (個)	育苗日数	収穫日 (月/日)	切り花長 (cm)	開花 輪数 (輪)	有効 蕾数 (個)
3/24	稚苗	2.0対未満	49日	7/10	82.3	2.7	2.7	49日	7/11	82.4	3.0	2.8
	小苗	2.0対以上2.5対未満	63日	7/3	76.1	2.9	2.7	63日	7/10	84.0	3.0	3.0
	慣行苗	2.5対以上3.0対未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大苗	3.0対以上かつ未抽だい	91日	6/30	73.9	3.0	3.0	-	-	-	-	-
	R T F 苗	抽だい済	-	-	-	-	-	91日	7/6	72.7	3.0	3.0
4/7	稚苗	2.0対未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小苗	2.0対以上2.5対未満	63日	7/7	75.7	2.7	2.6	-	-	-	-	-
	慣行苗	2.5対以上3.0対未満	77日	7/8	73.0	2.5	2.8	63日、77日	7/13	82.4	3.0	3.0
	大苗	3.0対以上かつ未抽だい	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	R T F 苗	抽だい済	105日	7/6	72.5	2.8	2.9	105日	7/12	73.0	2.9	2.8

n=23~24

² 開花可能な蕾の数

表2 育苗日数と定植日が収穫日および切り花品質に及ぼす影響(試験2)

育苗 日数	播種日 (月/日)	定植日 (月/日)	セレブリッチホワイト(中生)							海あやか(中晩生)						
			成苗率 ² (%)	定植時 本葉展開 対数 ³ (対)	収穫日 (月/日)	到花 日数 ⁴ (日)	切り花長 (cm)	開花 輪数 (輪)	有効 蕾数 ⁵ (個)	成苗率 (%)	定植時 本葉展開 対数 (対)	収穫日 (月/日)	到花 日数 (日)	切り花長 (cm)	開花 輪数 (輪)	有効 蕾数 (個)
49日	1/27		92.0	1.1	7/6	111.3 a ⁶	77.7 a	3.1	2.4	61.1	1.7	7/10	115.2 b	78.1 a	3.0	3.0
56日	1/20	3/17	79.5	1.3	7/4	109.3 a	76.8 a	3.0	2.5	28.5	-	-	-	-	-	-
63日	1/13		58.7	1.5	7/5	110.1 a	76.9 a	3.1	2.3	49.7	1.1	7/11	116.6 a	78.5 a	3.0	3.0
49日	2/3		93.8	1.4	7/9	107.3 a	77.5 a	3.0	2.6	51.0	2.3	7/14	112.1 a	81.0 a	3.0	3.0
56日	1/27	3/24	87.5	2.0	7/8	106.6 a	79.1 a	3.0	2.8	51.4	1.9	7/12	110.8 b	82.7 a	3.0	3.0
63日	1/20		87.8	1.9	7/7	105.1 a	81.0 a	2.9	2.4	56.9	2.0	7/13	111.6 ab	81.7 a	3.0	2.9
49日	2/10		80.2	2.0	7/9	100.8 a	76.0 a	2.9	2.7	66.7	2.0	7/15	106.5 a	80.3 a	3.0	2.9
56日	2/3	3/31	86.5	2.0	7/10	101.7 a	77.1 a	2.9	2.8	63.9	2.1	7/12	103.7 b	79.2 a	3.0	3.0
63日	1/27		83.3	2.2	7/9	100.5 a	73.6 a	2.9	2.4	69.1	2.3	7/11	102.7 b	80.0 a	3.0	3.0
49日	2/17		89.9	2.2	7/13	97.8 a	75.6 a	2.9	2.6	71.2	2.1	7/18	102.3 a	79.1 a	3.1	2.9
56日	2/10	4/7	83.7	2.1	7/15	99.4 a	74.4 a	2.9	2.6	75.7	2.2	7/17	101.1 a	75.8 a	3.0	3.0
63日	2/3		83.7	2.3	7/13	97.1 a	74.5 a	2.7	2.6	80.9	2.5	7/15	99.5 b	79.0 a	3.0	3.0
49日	2/24		83.3	2.2	7/18	95.4 a	78.7 a	2.9	2.5	86.5	2.2	7/20	97.4 b	80.9 a	3.0	2.8
56日	2/17	4/14	82.6	2.6	7/16	93.8 a	78.8 a	2.8	2.5	82.3	2.6	7/20	97.0 b	80.8 a	3.0	3.0
63日	2/10		80.6	2.3	7/18	95.8 a	76.6 a	2.7	2.3	76.0	2.6	7/22	99.1 a	79.8 a	2.9	3.0
分散 分析 ⁷	定植日	-	-	-	-	**	**	n. s.	n. s.	-	-	-	**	**	n. s.	n. s.
	育苗日数	-	-	-	-	n. s.	n. s.	n. s.	n. s.	-	-	-	**	n. s.	n. s.	n. s.
	交互作用	-	-	-	-	**	**	n. s.	n. s.	-	-	-	**	n. s.	n. s.	n. s.

n=19~24 (成苗率のみn=288)

² 本葉展開対数1対以上の苗の割合

³ 定植に用いた苗の本葉展開対数

⁴ 定植日から収穫日までの日数

⁵ 開花可能な蕾の数

⁶ 同定植日間の異なる英小文字はTukey-Kramerの多重比較検定により、5%水準で有意差あり

⁷ 二元配置分散分析により**は1%水準で有意差あり、n. s. は有意差なし、-は未検定

注) 「海あやか」の56日育苗、3/17定植は成苗率が低いためデータなし

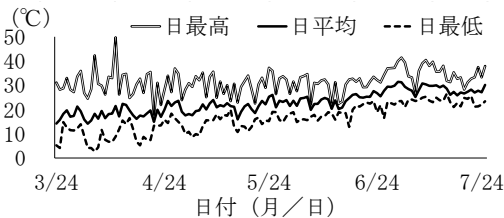


図1 栽培時ハウス内気温の推移(試験1)

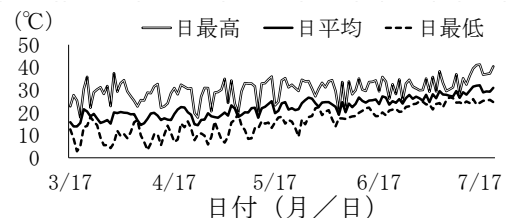


図2 栽培時ハウス内気温の推移(試験2)

各試験概要

	栽培ほ場	換気設定温度	種子冷蔵	元肥	追肥	マルチ	栽植密度	開花輪
試験1 2022年	農産園芸研究所 ビニルハウス	終日開放	なし	CDU化成555: 15kg/10a	なし	黒マルチ	株間10cm 条間10cm	一次小花
試験2 2023年		3月17日~4月15日: 日中雨天時以外開放 夜間閉め切り 4月16日以降: 終日開放		重焼燐: 4kg/10a 石灰: 100kg/10a				6条中2条抜き